



進路通信

宮城県立聴覚支援学校
令和2年10月1日発行
第16号 進路指導部

今年度の進路指導について

今年度第1号の進路通信をお届けします。今年度は新型コロナウイルスの影響により、6月1日（月）に学校が始まるという、例年とは全く違うスタートになりました。進路関係の活動への影響も大きく、生徒、保護者対象の行事を一部中止せざるをえない状況が現在も続いています。しかし、社会の状況を見極めつつ、生徒の学びの機会を確保できるよう努めていきたいと進路指導部では考えています。行事開催のご案内は1か月前にはお知らせしますので、その際には感染予防にご協力いただきながら、是非、学校に足を運んでください。どうぞよろしくお願いいたします。なお、今年度4月に社会に出た卒業生については、新型コロナウイルスの影響による、内定取り消しなどはありませんでしたのでご安心ください。

進路ガイダンス（高1保護者対象）について

8月5日（水）に進路ガイダンス（高1保護者対象）が行われました。例年ならば、事業所見学会（全保護者対象）、キャリア教育セミナー（高専対象）などを夏休み前に行っていますが、この行事が今年度初の進路関係の行事となりました。写真のように大会議室で間隔を取って座る形で、4月に発行した「進路の手引き」を使って、本校高等部専攻科における進路決定までの流れについての説明をしました。本校からの進路は、就職、進学、福祉サービスと多岐にわたり、複雑になりがちで、すべてを短期間で理解するのは容易ではありません。このような機会を上手にご利用いただき、本人に合った進路について親子で考えるきっかけにしてください。このような場面以外にも進路に関する情報は常時発信しています。ご質問、お問い合わせはお気軽に進路指導部までお寄せください。



●●●進路に関する用語の解説●●●

就職や進学に関する用語を解説していきます。



「履歴書、エントリーシート」

いよいよ就職シーズンが始まりました。そこで欠かせないのが「履歴書」です。また誰もが一生に一度は履歴書を書くことと思います。そこで最も大切なのは「志望の動機」です。なぜ、この会社を受けようと思ったか？そのきっかけは？を中心に、これまでの自分のことや将来の目標を、自己PRを織り交ぜながら文章で表現するものです。大切なのは具体性。面接官はこの「志望の動機」を見ながら面接を進めます。ここから話が膨らみ、文章で表現しきれなかったことまで伝えられるような履歴書になったら最高ですね。大学入試の総合選抜（AO入試）では「エントリーシート」が履歴書代わりです。文章が上手、下手ではなく、具体的な経験、エピソード、考え、目標を書くことが大切です。

職業相談（高3生徒保護者対象）について

進路ガイダンスと同じ日にほぼ並行して、職業相談（高3生徒保護者対象）が行われました。“相談”というとなんか困りごとの相談のようにも思えますが、実はそうではなく、この行事は「障害者雇用への求職登録」という公的な手続きになります。具体的には、本校を管轄するハローワーク仙台の職員さんが来校し、その方と、本人、保護者、担任の4者で、将来の働き方について確認したり、書類を提出したりする活動です。本校卒業後に進学するケースでも、将来は何らかの形で就職しますので、高3は全員が対象となります。この日に求職登録を行うことで、「将来にわたって」「日本全国」「いつどこで」就職を希望することになっても、その後の手続きがスムーズになるという大きなメリットがあります。ちなみにこの日にご家庭の都合で来校できない場合は、後日、ハローワークに行って手続きをすることになります。生徒達は自分で事前に書いた書類を用いて、やや緊張した面持ちで、ハローワークの職員さんと面談を行いました。写真はありませんが、3つの場所に分かれて3密を避け、生徒1名につき50分の面談となりました。なお、就職希望の生徒については、例年よりもかなり遅くなっていますが、8月から順次職場実習を行い、本人と仕事のマッチングを確認した上で応募し、来年4月からの就労を目指すことになります。

○進路のあれこれ Q&A○

進路に関する質問・疑問に進路指導部がお答えします。

小学部の保護者です。高等部卒業後の進路について、子どもも親も、なかなかイメージがわかりません。①本校の高等部を卒業したら、どんな選択肢がありますか？ また、そうした将来の進路について、②いつ頃までに決めたらよいですか？ ③小学部のうちから将来に向けて、心掛けておくことはありますか？



①について

大きく3つあり、就職、進学、福祉サービスの利用です。就職と進学は基本的に他の高等学校と同じイメージで構いません。ただし就職の場合は障害者雇用枠を利用するという点、本人と会社とのマッチングを確認するための職場実習を行っているという点が大きく異なります。3つ目の福祉サービスの利用については、「訓練的」要素が強いもの、「介護的」要素が強いものの2種類があります。

②について

実際、高等部入学段階でも迷っている生徒、保護者の方はいます。「いつ頃まで」というものはありません。本人、保護者の方が色々な情報を得て、実際に見たり、経験したり、第三者の意見をもらったりして、納得がいくまで考え、そして決めることが大切です。

③について

①の3つのどの進路を選んだとしても、大切な力は6つあります。

- a 人としての基本の力（誠実、思いやり、責任、礼儀、マナー）
- b コミュニケーション力
- c 健康、体力
- d 生活力（自分のことは自分で）
- e 基礎学力（文章力、計算力）
- f 忍耐力



どれも当たり前のことばかりですが、この6つの力がすべてのベースであり、この力を伸ばす心構えと活動が必要ではないでしょうか。実は9月16日（水）の「ようちぶ講座」でこのお話をしたばかりでした。今後、他学部の保護者の方々にもお話する機会を持てれば、と考えています。

